

【 病理診断 】

604 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製（乳癌疑い）の算定について

《令和7年6月30日》
《令和8年6月1日更新》

○ 取扱い

乳癌疑いに対するN002 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製「9」その他の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

良性の乳頭腫や乳管上皮過形成に伴う線維腺腫と悪性の非浸潤性乳管癌との鑑別には筋上皮マーカーやサイトケラチンを使用したN002「9」免疫染色病理組織標本による診断が有用である。

以上のことから、乳癌疑いに対するN002 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製「9」その他の算定は、原則として認められると判断した。